

令和2年度 友部小学校グランドデザイン

【教育理念】 主役である児童一人一人が自ら夢を育む、光り輝く友部小学校

【経営理念】 みんなが 仲良く 笑顔で 元気に 充実感のある楽しい学校づくり

【本年度のキーワード】 「チームTO・MO・BE」で 仲良く 笑顔で 元気に！

【経営の基本的態度】

- ・児童一人一人は違うのが当然であり、その特性を認めることを大前提とし、個性と創造性に富む心豊かな人づくりに努める。
- ・全児童がお互いの人格と個性を認め尊重し合って、自己肯定感と所属意識を高められるようにする。
- ・主体的・対話的で深い学びのある楽しく分かる授業を工夫・実践し、主体的に考え判断し、行動できる態度と能力の育成に努める。
- ・全ての活動の基盤となる体力と健康・安全の向上、食育の推進を図り、心身ともにたくましい児童の育成に努める。

【本県教育の目標】

- ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【本校教育目標】

よく学び 心豊かな
心身ともにたくましい 児童の育成

— と(友たち)・も(目標)・べ(ベスト) —

【笠間市の教育目標】

- ・知性を高めひとりひとりのもちまえを伸ばす
- ・自然や文化を大切に郷土を愛する心をつちかう
- ・豊かな感性をはぐみ健やかな身体を養う

めざす学校像

- 子供と教師の笑顔があふれる学校
- 子供と教師が共に学び、共に遊ぶ学校
- 子供が喜んで登校し、楽しく学び、満足して下校する学校
- 環境が整った、きれいで清潔な学校
- 地域や保護者から信頼される開かれた学校

めざす児童像

- よく考え工夫する子… 学ぶ習慣を大事にし、目標を持って主体的に学習する子供
- 思いやりがあり助け合う子… 友たちと仲良く力を合わせて活動する子供
- 健康でがんばりのきく子… 粘り強く取り組みベストをつくって頑張る子供

めざす教師像

- ・教育愛に燃え、教師としての使命感を自覚し、常に研修に励む教師
- ・深い児童理解の上に立って、いつでも明るく接し、師弟同行に徹する教師
- ・広い視野と温かい人間性を持ち、情熱をもって教育に取り組む教師
- ・豊かな教養と専門性を備えた教師
- ・地域や保護者との連携を大切にする教師

組織目標 グループ目標 笑顔を増やす

【第1学年グループ】

- 目的意識や自意識を伝え合う活動を通して、聞く力・話す力の育成を図り、学力向上をめざした分かる授業づくりを進める。
- 自分のよさを認め、所属感と仲間意識をもち、心地よさを感じる学習づくりを進める。

【第2学年グループ】

- 聞く力・話す力の育成を重視し、伝わりやすい活動を通して、学習意欲を高め、学力向上をめざした分かる授業づくりを進める。
- 自分のよさを認め、所属感と仲間意識をもち、心地よさを感じる学習づくりを進める。

【第3学年グループ】

- 伝え合う活動を重視した授業を展開する。
- 一人一人のよさを認める場をつくり、自己肯定感を高める。

【第4学年グループ】

- 伝え合う活動を重視した授業を工夫する。
- 一人一人のよさを認める場をつくり、自己肯定感を高める。

【第5学年グループ】

- 互いの考えを伝え合い、共に学ぶ授業を工夫する。
- 互いのよさを認め合える場をつくり、自己肯定感を高める。

【第6学年グループ】

- 対話的な学習活動を通して、学びを深める。
- 互いのよさを認め合える場をつくり、自己肯定感を高める。

【特別支援グループ】

- 一人一人の実態や特性を正しく理解し、指導方法の工夫に努め、楽しい学習活動に心かける。
- 一人一人の心に寄り添い、よさを認め、自己肯定感を高める。

【確かな学力】

- 「主体的・対話的で深い学び」のある楽しい分かる授業の積極的展開
 - ・個に応じた多様な学びの工夫と充実
 - ・ICT活用、反転学習の推進
 - ・算数科を主とした授業研究の実践
 - ・自分の考えをもち、多様な表現方法を用いて伝え合う活動の工夫
- 基礎基本の定着
 - ・教材研究の深化（一授業一工夫）
 - ・少人数指導、専科指導の充実
- 学習習慣の徹底
 - ・学習の約束の徹底（学び方、心構え）
 - ・主体的な家庭学習の習慣化（手引き活用）

【豊かな心】

- 良好な人間関係づくり
 - ・一人一人のよさを認め合う学級づくり
 - ・異学年交流（縦割り班活動）の充実
- 基本的生活習慣の定着
 - ・「友小の生活の約束」の共通実践
- 道徳教育の充実
 - ・道徳授業の工夫、改善
 - ・体験活動の充実 ・人権教育の充実
- 読書活動の推進
 - ・読書タイムの充実
 - ・県読書推進事業の活用
- きれいな学校づくり
 - ・整理整頓 ・清掃の徹底

【健やかな体】

- 体力の向上
 - ・体育授業の充実（学習カード、運動量、補強運動）
 - ・運動の習慣化（外遊びの励行、業間、ロング昼休みの計画的実践）
- 健康教育、食育の推進
 - ・清潔検査、すこやかタイムの充実
 - ・「新しい生活様式」指導の徹底
 - ・食育の充実（栄養教諭との連携）
- 安全教育の推進
 - ・安全点検の徹底（児童の目線で）
 - ・登下校指導、地区巡視の定期実施
 - ・各種安全教室、避難訓練の工夫改善

「チームTo・mo・be」で

- ★ TO ; Together … みんなで（全職員）、みんなが（同一步調）
- ★ MO ; Morale … 本気で、全力で
- ★ BE ; Best … 最善策で

9つの運営方針

- ①児童一人一人の「もちまえ（無限の可能性）」を伸ばす。
- ②教育目標（ねらい）の明確化とP・D・C・Aサイクルによる実践を重視する。
- ③全職員指導体制で教育活動を推進する。
- ④スモールステップで支援し、児童の「成功体験」（充足感・充実感・達成感）を積み重ねる。
- ⑤基本的生活習慣の定着を図り、自制心を高める。
- ⑥生徒指導の基本である「児童理解」「良好な人間関係」「きめ細かな指導」を念頭におき学級経営、教科経営の充実を図る。
- ⑦「報告・連絡・相談・確認」を確実にし、保護者、地域の信頼に応えるとともに、学校の危機管理に備える。
- ⑧研修や教員評価を通して、教職員の指導力の向上と組織力を生かした活力ある学校づくりの推進に努める。
- ⑨地域教育資源の積極的な活用と保護者、地域との連携を一層強化し、特色ある学校づくり、開かれた学校づくりを推進する。

- ・特別支援教育の充実を図る。
- ・Web ページ、各種たよりなどにより、教育の成果等の情報を地域、家庭へ積極的に発信する。
- ・保・幼・小との相互授業参観・交流活動、情報交換会を実施し、共通理解を図る。
- ・友部地区小・中一貫教育を推進する。
- ・ボトムアップ型研修により、コンプライアンス意識の高揚を図る。
- ・OJT を活用し、教職員の資質向上を図る。